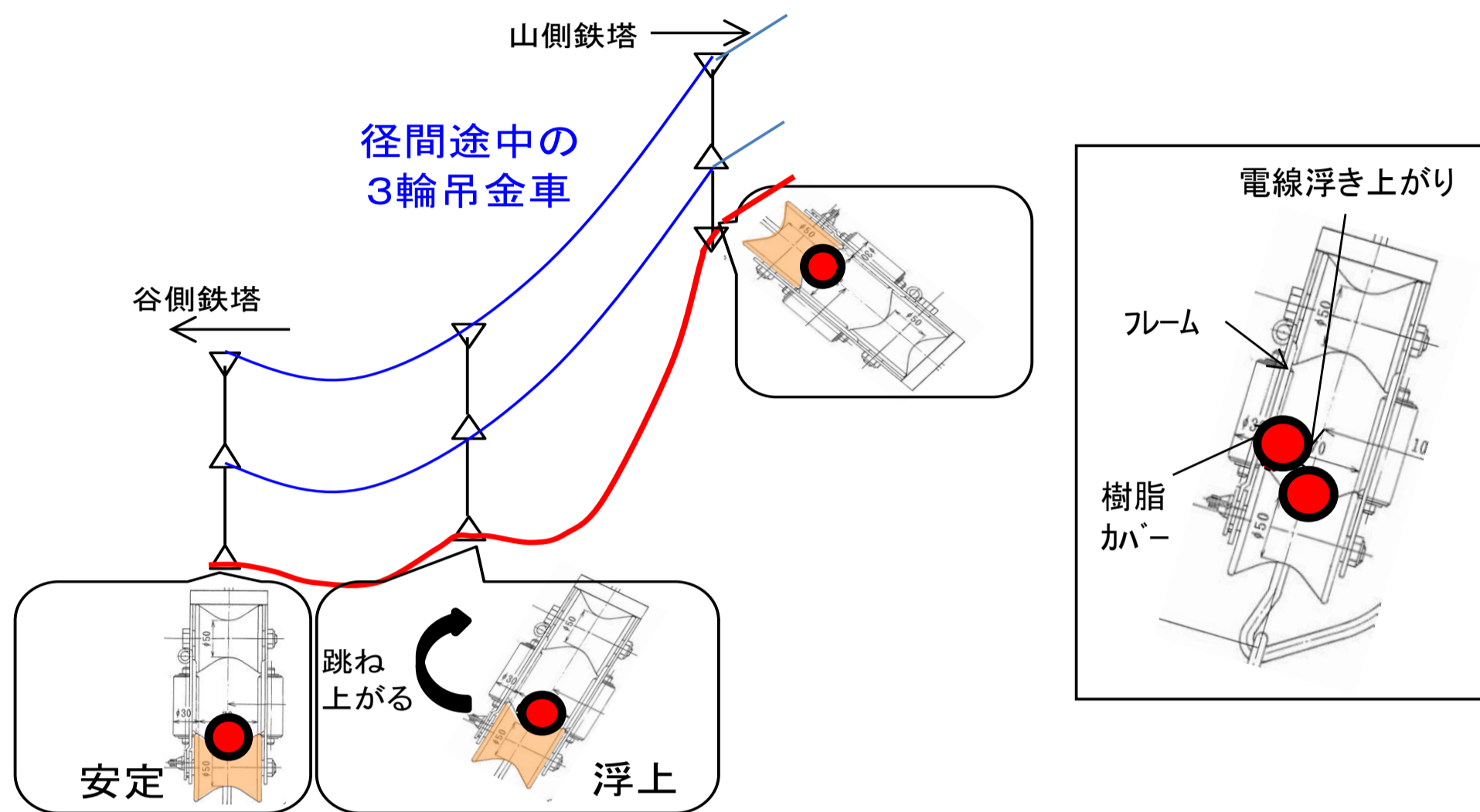


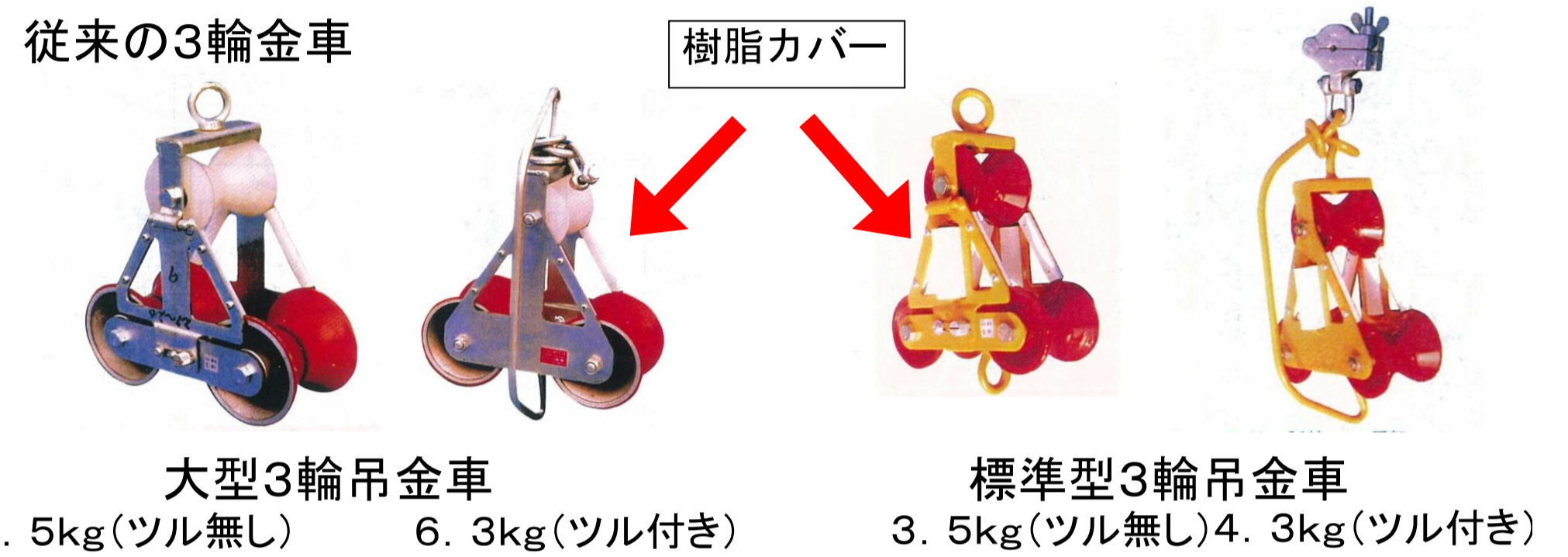
新型吊金車の開発(大型2輪吊金車・小型3輪吊金車)

足場構築の用地的な制約がある市街地での電線張替工事においては、足場が不要な吊金工法が採用されています。当社の吊金工法では、従来の3輪吊金車を多く採用していましたが、従来の3輪吊金車の問題点を解決した新型の吊金車である「ガイド付き2輪型吊金車」と「小サイズ電線用小型3輪吊金車」を開発しました。

従来金車の問題点



- ・吊金車の自重により電線に対する追従性が悪く、電線がホイールの溝に接しない場合がある。
- ・水平角度および垂直角度が大きい場合、鉄塔付近の吊金車が傾き樹脂カバーを削ってしまう事例が発生している。(左図参照)
- ・ツルを移動するリングが円滑に動かない場合がある。

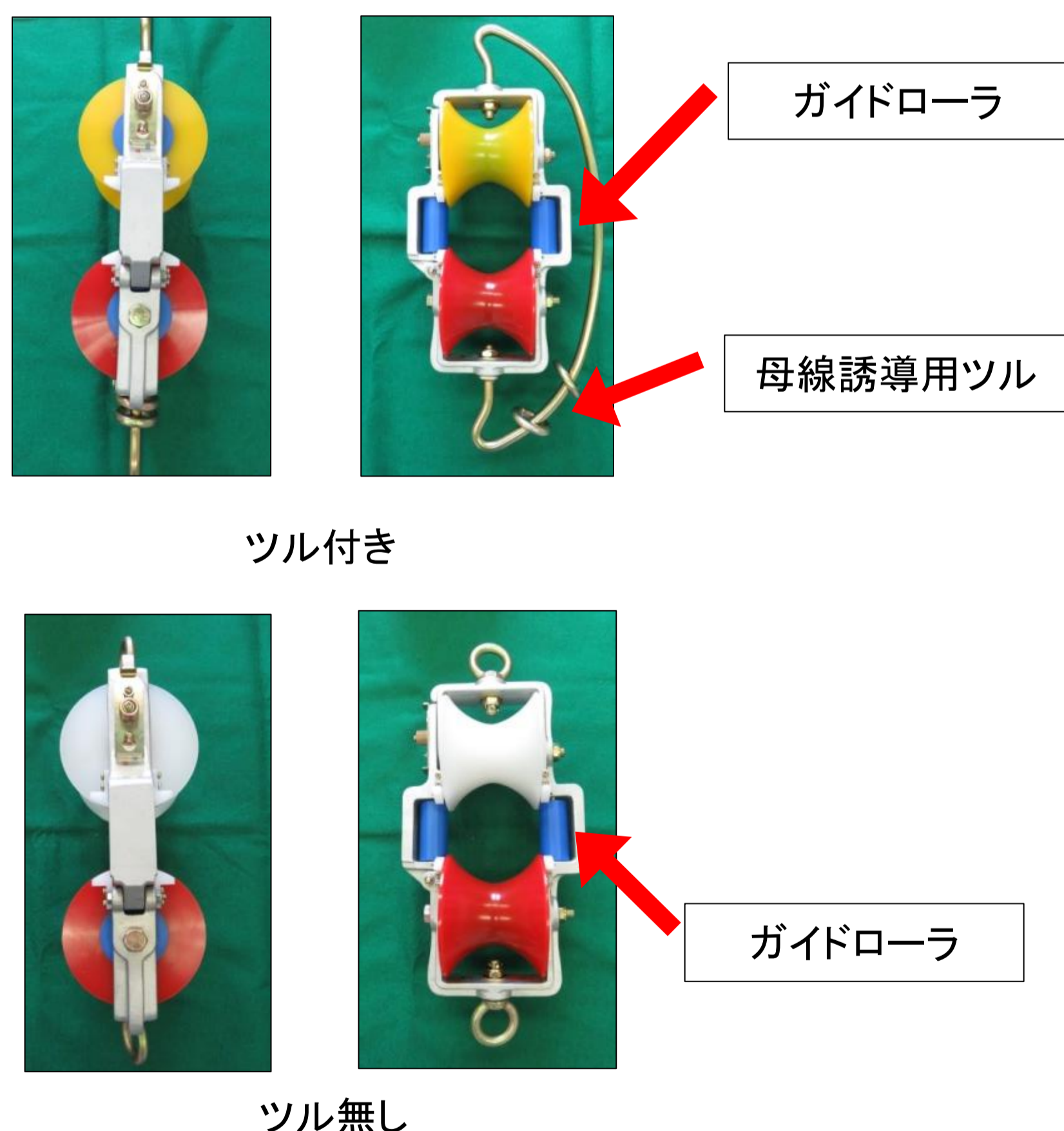


新型吊金車の特長

- ・大型3輪吊金車と比べ20%以上の軽量化
および小型3輪吊金車の開発
- ・金車サイドにガイドローラを配置
- ・吊金車のツル形状を円弧形状とした

- ⇒ [電線への追従性の向上]
- ⇒ [電線の駆け上がりによる電線損傷防止]
- ⇒ [母線張り上げ時の引っ掛かり回避]

ガイド付き2輪型吊金車の仕様



適用電線	ACSR330mm ² ～ACSR1160mm ²
最大通過物径	φ80mm(延線クランプ)
許容垂直荷重	400kgf
重量	3. 6kg(つる無し)、4. 3kg(つる付き)

小型3輪吊金車の仕様



適用電線	PSKTACSR64mm ² ～ACSR240mm ²
最大通過物径	φ50mm
許容垂直荷重	200kgf
重量	2. 0kg～3. 1kg